

21日から出願受け付け

日本文理大の新学部



保健医療学部の設置に向けて建設している新校舎の完成予想図

日本文理大(大分市一木)は、県内初の4年制保健医療学部の新設に向け準備を進めている。幅広い知見を備えた医療技術者の育成を目指し、来年4月に開設する。今月21日から1期生の出願を受け付ける。

新学部は保健医療学科の3コースで構成する。専任教員は医師や技師、研究者ら27人。コース(定員)は▽診療放射線学(80人)▽臨床検査学(50人)▽臨床工学(30人)があり、それぞれ診療放射線技師、臨

床検査技師、臨床工学士の国家試験受験資格を取得できる。

新学部で使う校舎(鉄骨4階、延べ5334平方メートル)は建設中。最新のコンピュータ断層撮影(CT)や磁気共鳴画像法(MRI)などを備え、各コースの研修に間に合うよう来年6月までに整備する。

8日に同大で記者会見した橋本堅次郎学長は「医療は産業化が進み、裾野が広がっている。求められる人材も高度化、複雑化している。幅広い視野と柔軟な対応力を持った、医療と社会をつなぐ『医療産業人』を育成したい」と述べた。

(乙 咩啓太郎)

日本文理大の新学部設置は1982年の商経学部(現・経営経済学部)以来。10月27日付で文部科学相から設置認可を受け、現在は厚生労働相の認可待ち。12月にも認められる見通しで必要な手続きがそろそろ。

